

# 戦争関連資料

当時の様子を記した絵日記 (深野三枝子さん提供)

深野三枝子さんの父である故羽村正春さんが記した戦争当時の絵日記

羽村正春さんは、平成七年に羽村市が発行した「戦後五十周年記念出版 語り継ぐ戦争体験 ——平和への願いを込めて——」に『戦わざる補充兵』の題名で、昭和九年に徴兵検査を受けたことなどの体験を寄稿しています。



○当時は、青年男女の出会いの場が存在した。



○昭和十三年頃、軍事教練を受けなければならなかった。



○出征の様子

○大戦末期、ガソリン不足で飛行機が飛べないため、松根油造りを残った老人婦人で行った。



○軍馬の飼料にするために、一軒何貫と割り当てられ、老人婦人子どもの仕事になった。



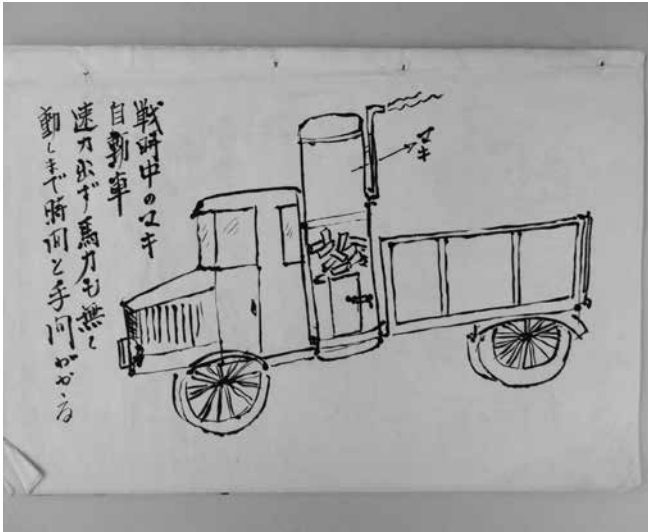


○軍籍にある人は盛夏に司令官の点呼を受けた。



○徴兵検査の様子

○戦時中のマキ自動車



善行證書、恩給欠格者書状、特別慰労品（石川本さん提供）

石川本さん

大正十二年十二月

立川で生まれる

昭和十九年四月

兵隊検査甲種合格

昭和十九年九月十五日

溝ノ口六十二部隊に入隊

昭和十九年十月一日

前線へ出発。広島から釜山を経て、満洲北支の天津より南京へ  
南京守備隊第一班へ兵器勤務班へ上海火砲移動修理班所属（隊  
長付）

昭和二十一年二月

自宅に帰還

上海より上舟へ博多へ五島列島を望めて博多へ

汽車で東京へ（戦友達各地で別れ）東京駅より高尾行電車で立  
川へ（両親―妹弟達一同元気で）自宅へ上らず、銭湯へ行きア  
カを落として家に復員時に持参の中国米（靴下二本分）にて一  
家一同夕食を食べ喜んで安心した。

○善行證書

上海で終戦を迎え、復員するときに受領した證書



右現役品行方正  
勤務勤勵學術技藝ニ  
熟達ス因テ此證ヲ附與ス  
昭和二十年八月 日



○恩給欠格者書状、特別慰労品  
内閣総理大臣名の書状並びに特別慰労品



父 田村久一の資料（田村治男さん提供）

○出征時に家の庭で撮影した家族の写真

中央に座っているのが田村久一さん

本人、妻、父、母、妹二人、叔父、子ども、祖母



○幾山河（昭和三十四年羽村町役場

発行）に掲載した田村久一さんの

略歴



陸軍中尉

田村久一

明治三十六年十月二十四日生行年四〇

戒名 賢明院武雄久遠居士

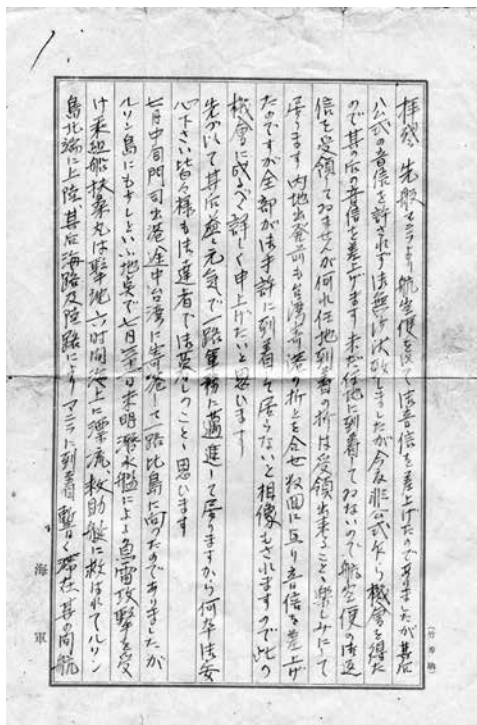
略歴 田村久一君は羽六五四番地久太郎氏の長男にして、大正十年三月府立農林学校卒業。自家の農業に従事す。戦歴 大正十三年十一月現役兵として、近衛工兵大隊に入隊、昭和二年四月除隊。昭和十九年六月十六日召集により、東部第八十三部隊に入隊、同年六月二十八日比島派遣威第一七六〇三部隊に配属、転進中乗船扶桑丸沈没するも救助せられ、ルソン島に上陸、マニラ附近の警備に当る。後ミンダナオ島ザンボンガに転戦。昭和二十年七月二十四日同地シラワイ南方五軒の地点に於て激戦中壮烈なる戦死を遂げらる。葬儀は昭和二十一年十二月禅福寺に於て、公葬として執り行わる。

○久一から父へ宛てた手紙

田村久一さんの父田村久太郎に宛てた、田村久一さんからの手紙の一部

(昭和十九年十二月)

台湾からフィリピンまでの道のりの状況報告



○久一の戦友から妻へ宛てた手紙

田村久一さんの妻田村あささんに宛てた、田村久一さんの戦友から手紙の一部

(昭和二十一年十二月)

終戦後、復員して帰り、田村久一さんの戦死した時の状況等を詳細に報告したもの。

